

2023 年度 シオン園保育所 事業報告

1 総括

新型コロナウイルス感染症が5類になり分散化していた園の行事も以前のように集合して行い、人数の制限なしに行うことで、保護者の参加機会が増え保育・教育の内容を具体的に伝え、こどもの成長をともに喜び確認することが出来たのは良かった。

2022 年度的大幅赤字を受けて法人本部と共に収支改善に向けての話し合いを何度も行い、7月には法人事務局から職員に対して自園の現状課題についての説明を受け、業務改善に向けての話し合いを職員間で丁寧に行った。法人内3保育所の経営状況についても過去10年間の経営の推移をデータ分析して、収入面支出面の要因について話し合いをし、経営改善に取り組んだ。

新たな事業として荒尾市より放課後児童クラブの委託を受け2024年4月よりシオン園保育所学童クラブくるみの実を開設することになった。

2 主な取組の実施状況と評価

(1) 保育内容の充実を図る

- 一人ひとりの子どもを大切に家庭的な雰囲気の中で育児担当制を行い、愛着関係を築き規則正しい生活リズムを身につけ基本的な生活習慣確立に導いていった。
- 異年齢保育を行いながら、子どもたちが年齢の異なる友だちと一緒に生活や活動をして交流することでお互いに関わり方を学び共に育ち合うことが出来るようにした。
- 主体的に遊び活動できる子どもを育むために環境保育を学びながら実践していった。

目 標	実績	評価
①育児担当制を深める	①2023年1年かけて研修や勉強会に継続して出かけていき学んだものを他の職員に周知して実践していった	4
②異年齢保育の実践	②職員も試行錯誤しながら、異年齢クラスの連携連絡を密にとりながら進めていった	

- 1 達成できなかった 2 あまり達成できなかった 3 ある程度達成できた
4 概ね達成できた 5 達成できた (以下同)

(2) 職員の資質向上を図る

- 職員の経験年数や様々な職責を考え研修計画を立て実施していった。
- 今年度は法人内研修、ルーテル法人会連合研修、キャリアアップ研修など多くの研修に参加し学びの機会を与えられ研鑽を積んでいった。
- 年度末には自分自身の保育の振り返り自己評価を行ったが、スキルアップのための目標設定や方法について話し合うことが出来なかった。

目 標	実績	評価
①経験年数や責務に応じた研修計画 ②専門性向上とキャリアアップ研修	①全職員の職員計画を立てて積極的に研修に参加した。学びの共有が出来るように勉強会を行った ②職員の経験年数や職務内容に合った研修に参加して専門性の向上を図った。キャリアアップ研修も受講後、園内研修して学びを伝え合ったり確認し合ったりした	3

(3)職員間の連携強化・チームワークを促進する

- 様々な会議のあり方を見直し、事前にクラス単位で話し合いを行い会議に出るようにした。出席した職員は内容を報告し担当者は会議録を回覧して全職員が情報を共有・周知するようにした。
- シオン園保育所の職員、慈愛園という組織の一員、社会福祉に携わる者としての認識を持ち行動するようにしていった。
- 法人内の3保育所での交流や意見交換が出来なかった。

目 標	実績	評価
①情報課題の周知共有 ②組織人としての行動徹底 ③法人内や他施設との意見交換	①様々な会議で出た意見や決定事項については内容の報告をきちんと行い、会議録を回覧して情報を共有することを徹底した ②組織の一員として職員に求められる行動として挨拶、報連相、規律順守、協力・連携・協調など考慮しコミュニケーションをとった ③荒尾市内の他保育所との研修や意見交換は行えたが、法人内の3保育所での意見交換や交流が出来ず残念だった	3

(4)環境面の整備

- 2023年度初めには職員も余裕があったが5人の職員が育休に入ったり、感染症が流行して職員が病欠したりして年次休暇がとれにくかった。
- 業務内容を精査しながら、ノーコンタクトタイムの導入を進めているがクラスによっては偏りがあり引き続き取り組んでいきたい。

目 標	実績	評価
①年次有給休暇の取得を推進する ②労務管理の徹底 ③業務内容の精査 ④職員間の交流	①年 10 日以上の年次有給休暇の取得が 50%位であるが職員によっては偏っていた。 ②職員の福利厚生や健康面などは管理を一貫して行った。全職員がアンガーマネジメント研修を受講出来たのは良かった。 ③効率よく仕事出来るような工夫が足りなかった。 ④なかなか全職員で出来なかった。	2

(5)地域、関係機関との連携を図る

- 地域の小学校や近隣の施設の訪問は、感染症が流行した際には取りやめたり小人数で訪問したりした。
- 保育実習や看護学生の実習は受け入れたが採用には至らなかった。職場体験は予定していたが直前になり中学校で感染症が流行したため取りやめになった。

目 標	実績	評価
①小学校、公的機関の交流 ②保育実習、職場体験の受け入れ	①花の日や感謝訪問には近隣の施設にお花を届け交流の機会を持った。小学校との交流は日程調整がうまくいかず出来なかった。 ②保育実習は積極的に受け入れた。職場体験は直前になり取りやめになり残念だった。	3

(6)子育て支援の促進

- 困難を抱える保護者に寄り添い相談にのり、子育ての悩みやこどもの特性について一緒に考え支援していった。
- 荒尾市福祉課の心理士の定期的な巡回相談で、困り感のある子どもや支援が必要な子どもは保護者面談を行い療育機関へと進めていった。

目 標	実績	評価
①子育て支援、保護者支援 ②関係機関との連携	①子育ての悩みやこどもの特性について相談に応じ子育てのやり方を模索していった。 ②発達障がいや困り感のある子どもに対して関係機関との連携や保護者面談を通して保護者の思いや支援の方法などを話し合っていた。	4

(7)施設経営の安定化

- 2022 年度の大赤字を受けて園の現状を職員に話し理解してもらい、法人本部と共に収支改善に向けた話し合いを何度も行い進めていった。
- 法人内の3 保育所の経営状況についてデータ分析して、収入支出面の要因について話し合い意見交換していった。
- 新規事業としてシオン園保育所学童クラブくるみの実を2024 年4 月から開設した。

目 標	実績	評価
①安定的な経営	①2023 年度も園児数はさほどかわらなかったが単価が上がったことと、職員が5 名育休で休んでいるので、支出は抑えられ収入は増加した	3
②財源確保	②補助金や加算など申請できるものはすべて申請していった。2024 年4 月より学童クラブくるみの実を開設して収入増を見込んでいる	
③人材確保	③保育学生や看護学生の実習生を受け入れたがなかなか採用へは結び付かなかった	
④コスト削減	④節電、節水などの意識づけは出来ていた	

3 サービスの利用状況

2023 年度も4 月当初は定員に見たらない状況だったが、半年後には定員に達し年度末に年間平均の稼働率が100%になるため、荒尾市に定員減を申し出ても取り合ってもらえなかった。2023 年の荒尾市の出生数が252 人と毎年減少しているのが当園だけでなく入所児が減少し、荒尾市のほとんどの園が定員割れしている。2023 年度も4 月の0 歳児クラスは7 人と人数が少ないのは経営的に厳しかったが、2 月には27 名になった。今後も育休をぎりぎりまでとられ仕事に復帰される年度途中での入所を希望される家庭が増えてくることは否めない。

園児在籍数 2023 年度 (定員 150 名)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年間平均数
0 歳児	7	7	9	12	12	14	16	19	23	25	27	27	16.5
1 歳児	27	27	27	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26.3
2 歳児	19	19	19	20	20	20	20	20	20	20	20	20	19.6
3 歳児	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24.0
4 歳児	32	32	32	32	32	33	33	33	33	33	33	33	32.6
5 歳児	31	31	31	31	30	31	31	31	31	31	31	31	30.9
合 計	140	140	142	145	144	148	150	153	157	159	161	161	150.0
昨年比	-2	-4	-4	-3	-6	-3	-1	-2	-1	-1	-2	-2	
稼働率	93	93	94	96	96	98	100	102	104	106	107	107	100%

4 苦情対応の状況

7月18日と2月29日に苦情委員会開催。第三者委員に苦情の内容と園の対応を報告し助言を求めた。

※2023年度は次のような苦情に対応した。

① 異年齢保育についてのご意見（保護者より郵便にて届く）

どうして保育が変わったのか・メリット、デメリットの説明をしてほしい・ぜひ保護者会を開いてほしい・その際質疑応答もしてほしいとの内容。

- ・ 2022年度1年間、異年齢保育への移行期間として保護者にお知らせして異年齢のグループでの活動を計画して行っていた。2023年度になり保護者も周知しているものと思進めていったが、保護者会を開催して説明してほしいとのご意見があり、0,1,2歳児と3,4,5歳児に分けて保護者会を行った。全保護者に対してのアンケートも実施し結果は保護者へ配布した。質問に対しては掲示板と玄関ホールに掲示して保護者へ開示していった。その後、この件に対する申出、意見はない。

② ミニトマト栽培についてご意見。（荒尾市役所に電話あり）

子どもが通っている保育園でミニトマトを栽培している。今、子どもたちが食べてのどに引っかかり窒息死して問題になっているのに、なぜ栽培しているのか。子どもたちの手の届くところに植えているのはなぜか。事故が起きては大変なので、柵などして子どもたちが行けないようにしてほしいとの内容。

- ・ 食育の一環としてミニトマトやきゅうりなどの夏野菜を栽培していることを話した。ミニトマトを給食で食べる際は半分に切ったり4等分にして安全面に配慮していることも伝えた。また、水やりなども職員と子どもたちで一緒に行い、子どもたちだけで収穫することはないし、勝手に畑に行くことはないことも伝えた。園の便りに掲載。その後、この件に対する申出、意見はない。

③ 降園時の事故防止について（駐車場の現場を見ていた保護者より）

夏の猛暑の時に保護者が兄弟児をお迎えに行っている間に先にお迎えだった園児が一人で車に乗っており、汗をたくさんかいているのを見られた他の保護者が、熱中症や事故を心配され事務室に話されたとの内容。

- ・ 園児が特定できたので園児の保護者には園長が内容を伝え注意喚起を行い、担任より園児とクラスの子どもたちには駐車場での約束をした。また、保護者会より駐車場利用についての詳しいお手紙を配布した。園の便りに掲載その後、この件に対する申出、意見はない。

④ 着替えに対するご意見（荒尾市役所よりお電話）

お迎えの時オムツがぬれていたり、スタイが濡れたままのときがある・朝着ていったままの服で1日着替えがされていない・汚れたり汗をかいたりしているので、毎日着替えをしてほしいとの内容。

- ・ 同日各クラスに苦情内容について通知し、着替えについての対応を確認した。着替えはどのクラスでも行っているようだが、天候や気温などの違いで行わない日もあったようなので、着替えは毎日必ずすること・降園時の身なりやオムツの状況を確認することを周知した。園の便りに掲載。その後、この件に対する申出、意見はない。

5 主な行事の実施状況

月	日	行 事	月	日	行 事
4	3	入園・進級礼拝	10	7	運動会(3,4,5 歳児と保護者)
	7	イースター		13	幼児祝福式
	21	誕生会		18	バス遠足(3,4,5 歳児と保護者)
	28	子どもの日		20	誕生会
5	10	創立記念日礼拝	11	1	SDGs の日
	12	母の日		7	ふれあい動物園
	19	誕生会		10	誕生会
				14	感謝祭
				15	感謝訪問(5 歳児)
				22	健康診断
6	7	歯科検診	12	1	誕生会
	9	花の日礼拝		16	5 歳児クリスマス
	16	父の日		22	園内クリスマス
	23	誕生会			
	28	健康診断	1	19	誕生会
7	7	七夕	2	27	保育参観・懇談会 (0,1,2 歳児)
	20	サマーフェス (3,4,5 歳児)		3	節分
	28	誕生会		10	シオンフェスタ (3,4,5 歳児)
				16	誕生会
8	18	誕生会	3	1	ひなまつり
9	8	誕生会		8	誕生会
	15	敬老の日		16	卒園式 (卒園児とその保護者)

6 研修の実施状況

2023年度の研修は、コロナ感染症が5類になったため、集合・対面での開催に戻りつつあった。経験年数や責務に応じた研修計画を立て全職員が計画に基づき研修に参加できるよう配慮した。研修後は、自分が学んだものを他の人に伝え合い共有していった。

月日	研修名	人数
4月 1日	2023年度慈愛園新規採用職員研修	5名
4月 8日	2023年度慈愛園新規採用職員研修	4名
4月 9日	2023年度慈愛園新規採用職員研修	4名
4月 15日	育児担当制研修 (第3回)	2名
5月 6日	育児担当制研修 (第4回)	2名
5月 31日	令和5年度県保協・県保育協会合同研修会	1名

6月 3日	キ保熊本地区春季保育者研修	4名
6月10日	育児担当制研修（第5回）	1名
6月15日	障がい児保育研修	1名
6月16日	キ保九州部会保育者研修	2名
7月 4日	日保協九州ブロック女性部研修	1名
7月 8日	育児担当制研修（第6回）	2名
7月14日	2023年度熊本・佐賀保育環境講座	2名
8月22, 23日	第14回うるてる法人会連合研修・総会	3名
8月 26日	荒尾市保育協議会令和5年度園長会研修	8名
9月 2日	育児担当制研修（第7回）	1名
9月 16日	キ保熊本地区秋季保育者研修	3名
10月 3日	保育所実習指導者研修	1名
10月 13日	保育問題セミナー	1名
10月 26日	福祉サービス苦情解決研修	1名
11月 8日	社会福祉法人新任職員会計実務研修	1名
11月10日	熊本県就学前人権「同和」教育研究大会	1名
11月25日	育児担当制研修（第8回）	1名
11月29日	慈愛園職員全体研修	1名
1月13日	荒尾市保育協議会令和5年度園長会研修	4名
1月22日	第66回熊本県保育研究大会	2名
2月17日	荒尾市保育協議会保育士部会情報交換会	7名

キャリアアップ研修

乳児保育	2名	保健衛生・安全対策	1名
幼児保育	2名	食育・アレルギー	1名
障がい児保育	1名	保護者支援・子育て支援	2名
マネジメント	1名		

園内研修

8月 4日	「救急法・応急手当について」 （主任保育士，保育士）	8名
8月29日	「うたと心と神さまと」	11名
10月20日	（園長，主任保育士，保育士，栄養士）	10名
9月28日	「慈愛園職員アングーマネジメント研修」 （園長，主任保育士，保育士，栄養士， 調理師，看護師，保育補助，調理員）	38名
10月24日		
11月20日		
11月27日		
2月16日	「感染症について」 （主任保育士，保育士，調理師，保育補助）	8名

7 施設整備等の状況

2024年4月よりシオン園保育所学童クラブくるみの実を開設する為に以下のことを行った。

- | | |
|----------|-------------|
| ・トイレ改修工事 | 2,319,900 円 |
| ・物置の設置工事 | 1,210,000 円 |

8 その他

特になし